

## 2010年 沢 Opening

### 新茅ノ沢

2010年4月4日(日)

メンバー : 西村(L)、田中、志満  
後藤(記)

前日の懸垂岩でのレスキュー・トレニングに引き続き、沢 Opening に参加した。

今年は寒暖の差が大きいと云うより激しく、寒い日が多い。このところ体調の変化で、めっきり寒さに弱くなってしまったので参加するかどうかグズグズと迷っていた、が思い切って参加することにした。

レスキュー・トレの後の戸沢で行われた前夜の親睦会ではそれほどアルコールは取らず、早々と寝たにも係わらず体がだるい。8時半から16時までの充実したレスキュー・トレがのせ井かもしれない。

当日参加の西村さんと共に新茅山荘の駐車場まで戻り、8時過ぎ新茅橋手前から沢に入る。天気はどんよりと曇り気温も非常に低く肌寒く、絶対に濡れるまいと思った。

橋の下を通ると直ぐに3m ほどの滝が現れた。これまで何回かこの橋を通ったことがあるが、橋からこの滝は見えなくこんなに近くに滝があるとは思ってもよらなかった。

滝には F1 の標識があり、これ以降の滝にはすべて標識があった。丹沢では滝の標識は一般的なのかも知れない。誰が何の目的で付けたかはよく判らない。

その先の F3 は高さ7mほどで垂直な滝、右の流れの中を登れそうであったが濡れそうだったので、比較的流れの少ない右側を登ることとなった。西村さんトツ

プでロープを出し、ここで私はカッパを着込み続いた。志満さんは濡れるのを避け右側を巻いたようで、後藤が登り終える頃にはすでに先を歩いていた。ロープを出したのはこの F3 の1回だけ。

この後は数ヶ所の滝を通過し、茅ノ沢最大の大瀬と称される15mほどの滝に到着。ルートは流れの中にあり、かなり濡れそう。

ルートを眺めながら濡れるか、巻くかどうしようかとしばし思案。田中さんは濡れてもいいようで登る気のようにあったが、結局全員一致で左側の巻き道を選んだ。

この後、滝を何ヶ所か通過しているうちに流れはなくなりガレ場となった。とりあえず記録にあるチョック・ストーンまで行こうということで登り始めたると直ぐに到着した。右側の藪を2、30分で烏尾尾根の登山道、12時前には駐車場に到着。

3時間ほどの手軽な行程で、次には夏の暑い日にもう一度登ってみようと思った

#### コースタイム

4月4日

新茅ノ橋(8:50) - チョック・ストーン滝(10:20) - 烏尾尾根(10:50)  
- 新茅山荘駐車場(11:50)

地形図(1/25000)

大山